

図書館だより

発行 2008年5月30日
 八戸大学・八戸短期大学図書館
 八戸市美保野 13-98
 TEL 0178-30-1695
 FAX 0178-30-1737

目次

・平成 20 年度 図書館への誘い	……(1)	・大学図書館へ今後期待すること	…(3)
・図書委員会および選定委員会の紹介	…(1)～(2)	・私と図書館	……(3)
・学生時代の図書館との思い出	……(2)	・新着図書案内	…(3)～(4)
・私の薦めるこの2冊	……(2)	・図書館日誌	……(4)

◆◆◇◆◆◇ 平成 20 年度図書館への誘い ◇◆◆◇◆◆

八戸大学 人間健康学部教授
 図書館長 畑山 俊輝

今年も本学は新しい学生諸君を迎えました。入学された皆さん、おめでとうございます。

図書館は皆さんにとっては大学のイメージのかなりの部分を占めているのではないのでしょうか。本学図書館は、大学の2つの学部と短期大学の2つの学科に籍を置く学生諸君の勉学の間であり、教職員にとっても学術情報獲得の間として重要な役割を担っています。大学の人間健康学部は新入学生が加わることによって4学年体制になりました。そして、今年度いよいよ卒業論文にとりくむ人間健康学部4年生の姿が図書館でも見られるようになります。本学は今後さらに新しい学園プロジェクトを推し進めてもっと多様な学生諸君を受け入れる予定でいます。そうなれば、図書館もそれに合わせた取り組みをしていくことになります。単に新しい分野の本を増やすというだけではなく、コンピュータ・ネットワークを利用した学術情報の、他機関との相互交流の効率化を図るなど、高度情報化社会にふさわしい取り組みが今以上に行われるようになります。

本学図書館の大きい特徴は皆さんへの勉学支援にあります。授業と関連する学術分野の和書の集書には特に力を入れてきました。これは他学に誇れる内容をもっています。よく利用してその恩恵に浴してほしいものです。本学図書館が主として力を入れているのは次のような点です。①図書館の利用促進、②蔵書整備、③地域に開かれた図書館への取り組み、④学術誌、参考図書などの整備・購入やデータベースの構築です。

さて、大学生活の中で図書館が果たす役割はとても大きいものです。勉学に関してだけでなく、日常の学生生活のさまざまな面で、知の情報センターである図書館を上手に利用することは、皆さんが大学生活に居心地のよさを感じる大きいファクターになります。いろいろな問題の解決のための情報を直接入手できるからです。情報入手といえばインターネットの利用を思いつくことでしょうか、信頼のおける質のよい情報を得るには、皆さんが検索する分野について事前にしっかりした知識の蓄えが必要なのです。今日こそ、図書館の重要性はむしろ高まっているといえます。

本年度も、副館長の本学短大・佐藤愛子先生や職員スタッフとともに図書館の一層の充実発展を目指して努力してまいります。図書館利用で分からないことがあれば、遠慮なく声をかけてください。

平成 20 年度 図書委員会および図書選定委員会委員の紹介

◎ 図書委員会

委員長 畑山 俊輝 (大学人間健康学部教授)	副委員長 佐藤 愛子 (短大幼児デザイン学科教授)
委員 金綱 基志 (大学ビジネス学部准教授)	委員 瀧澤 透 (大学人間健康学部教授)
委員 丸井 洋子 (短大幼児保育学科教授)	委員 岩館 千歩 (短大幼児保育学科講師)
委員 小松 良重 (司書・図書館事務室長)	

(2)

◎ 図書選定委員会

委員長 畑山 俊輝 (大学人間健康学部教授)	副委員長 佐藤 愛子 (短大両学科共通科目担当)
委員 丹羽 浩正 (ビジネス学部専門分野担当)	委員 長谷川 美千留 (ビジネス学部専門分野担当)
委員 瀧澤 透 (人間健康学部専門分野担当)	委員 三本木 温 (人間健康学部専門分野担当)
委員 三浦 賢治 (大学両学科共通科目担当)	委員 渡辺 一弘 (幼児保育学科専門分野担当)
委員 小竹 靖之 (ライフデザイン学科専門分野担当)	委員 小松 良重 (司書・図書館事務室長)
協力員 金地 美知彦 (人間健康学部助手)	

▽△▽△▽△ 学生時代の図書館との思い出 △▽△▽△▽

八戸大学 ビジネス学部
専任講師 グレゴリー・アンソニー

私が大学生のときは、まだ一般には勉強や研究のためにインターネットは普及していませんでした。その当時、学生は勉強・研究のためには図書館を利用するのが第一。ですので、図書館はいつもすごく大勢の人たちが集まっているところでした。

私の通っていた大学の図書館の雰囲気は、厳肅というより、ちょっとにぎやかで心地よいところでした。もちろん静かではありますが、図書館とは、勉強以外に友人との待ち合わせ場所であったり、おしゃべりしたり、他の学生と課題についての討論をしたり、何もやることなく、ただ行ってゆっくり時間を過ごすようなところでした。天気の良い日は、図書館の庭の芝生の上で本を読んでいる人もたくさん見かけました。

だから私の図書館のイメージは、ソファに横になり、ちょっとした食べ物、例えば、コーヒーと一緒にサンドイッチなどを食べながら本を読むところ、といった感じなのです。こういう雰囲気だったので、図書館は楽しく学び、人との情報交換の場所、つまり大学の中心部でありました。

最近では、インターネットでの情報収集が便利になりましたが、今後も図書館は人々の学習の場や憩いの場であってほしいと願います。

・>>>>>>>>> 私 の 薦 め る こ の 2 冊 <<<<<<<<<<<<

八戸短期大学 幼児保育学科
准教授 茂木 典子

お薦めの本の一冊は、ケストナーの『雪の中の三人男』(筑摩書房刊)

抱腹絶倒、お腹の皮がよじれて痛くなること受け合いの物語です。世界ユーモア文学全集の中の一冊で、私は高校一年生の時に図書館でこの本に出会いました。3年ほど前の新聞で、「もう一度読みたい本」として、岩波ホール支配人の高野悦子さんがこれを挙げているのを見て、数十年前の面白さがよみがえって来ました。今では入手困難かもしれない一冊ですが、ぜひ、探してでも読みたい一冊です。

もう一冊は、内藤濯訳『星の王子さま』(岩波書店刊)

子どもの頃に読んだ方、まだの方、すべての大人の皆さんにお薦めしたい本です。数年前に、いろいろな訳者のものが沢山出版されましたが、内藤濯訳がお薦めです。作者サン=テグジュペリの思いと、日本語の美しさを伝えてくれるものは、内藤濯訳を置いて外にはないと思うからです。

内藤濯先生には、大学4年間、ゼミ「文学以前」とサークル活動「朗読教室」でご指導いただきました。『星の王子さま』やサン=テグジュペリのこと、フランス語の美しさ、日本語、話し言葉についてなど、内藤先生から伺ったことを11月の公開講座でお話しする予定ですので、併せて聞いていただければ幸いです。

・ ・ □ ・ ■ ・ □ 大学図書館へ今後期待すること ■ ・ □ ・ ■ ・ ・

八戸大学 人間健康学部
専任講師 渡邊 陵 由

今年度、人間健康学部は完成年度をむかえ、教員免許を取得した学生を社会に送り出すことになる。また、7月には教員採用試験を受験する学生も出るため、どの程度教職関連の資料が所蔵されているかを知るため、OPACを利用し、キーワード「保健体育」、「教職課程」などで検索してみた。

私が思っていたよりも多くの所蔵があった。しかし教員試験対策用の問題集は青森、岩手、秋田の3県のものしかなく、教員養成に関する雑誌は「教職課程」(協同出版社刊)のみで、時事通信出版局の「教員養成セミナー」が置いていないのは少し残念である。

私自身、教員採用試験の対策をするためには、出版社によって解説が様々であるため、問題集を1冊だけやるのではなく、多くの問題集をやった方がよいと教えられていたので、今後は、教員になることを目指して入学してきた学生のため、図書館にはもっと教員採用試験対策のための資料を増やしていただければよいと思う。

・ † ・ ‡ ・ † ・ ‡ 私 と 図 書 館 ‡ ・ † ・ ‡ ・ † ・

八戸短期大学 ライフデザイン学科
准教授 三浦 文恵

小さい頃から、私はTVより本やお話が大好きな子供であった。そんな私への両親からのプレゼントは、いつも本。ある年の誕生日、段ボール箱いっぱいのような本が本屋から届き、私はもうあまりの嬉しさに、すっかり我を忘れてはしゃぎ回ったのを、今でも鮮明に覚えている。

両親とも共働きで帰りが遅く、小学校入学と同時に「鍵っ子」となった私が放課後過ごすのは、そんなわけで、いつしか図書館となっていた。友達が帰ってしまっても、たくさんの本に囲まれていれば寂しさなど何も感じず、物語の世界に引き込まれていた。毎日、いつも最後に用務員のおじさんに帰るよう促されるのは、私だった。

当時学校では、本を読ませるためにカラフルな読書カードを一人一人の生徒に作り、借りた本の分のスタンプを押していたのだが、このスタンプがどんどんたまっていくのが楽しくて、私は次から次へと本を借りていた。どれを読み終えたか分からなくなってしまうように、本棚の端から順番に借りていき、それが予想以上に順調に半分近くに来た時、私は壮大な計画を立てた。そしてついに小学校の6年間で、学校図書館の百科事典以外の全ての本を制覇したのが、私の秘かな自慢である。

新着図書案内

1. 「リアル鬼ごっこ」／山田悠介著 幻冬舎 913.6 Y

「佐藤」姓を皆殺しにせよ！西暦3000年、国王は突然、7日間にわたる大量虐殺を執行した。大学生・佐藤翼の眼前で殺されていく父や友。陸上選手の翼は、幼い頃に生き別れた妹を探し出すため死の競走路を疾走する。若い世代を熱狂させた大ベストセラーの改訂版。

2. 「パズル」／山田悠介著 角川書店 913.6 Y

超有名進学校が武装集団に占拠された。人質となった教師を助けたければ、広大な校舎の各所に隠させた2,000ものピースを探しだし、「パズル」を完成させなければならない!? タイムリミットは48時間。究極の死のゲームが今、始まる。

(4)

3. 「あなたと、どこかへ」 / 吉田修一ほか著 文藝春秋 913.68 Y

ドライブ・シーンを用意することをただひとつの共通したモチーフとして、8人の短篇小説の名手が挑んだ8つの愛の情景を収めた傑作短篇アンソロジー、待望の文庫化です。

4. 「乳(ちち)と卵(らん)」 / 川上未映子著 文藝春秋 913.6 K

初潮を迎える直前で無言を通す娘と豊胸手術を受けようと上京してきた母親、その妹である「わたし」が三ノ輪のアパートで過ごす三日間の物語。全編大阪弁が炸裂するが、文学的に見れば、樋口一葉ばりの息の長い文体が特徴。三人の登場人物の身体観と哲学的テーマが鮮やかに交錯し、魅惑を放つ。第138回芥川賞受賞作品です。

5. 「サクリフェイス」 / 近藤史恵著 新潮社 913.6 K

勝つことを義務づけられた〈エース〉と、それをサポートする〈アシスト〉が、冷酷に分担された世界、自転車ロードレース。初めて抜擢された海外遠征で、僕は思いも寄らない悲劇に遭遇する。それは、単なる事故のはずだった——。二転三転する〈真相〉、リフレインの度に重きを増すテーマ、押し寄せる感動! 物語の結末とは。青春ミステリーの逸品です。

図書館日誌

4月

- ・職員研修会(1日臨時閉館)
- ・大学短大合同入学式(7日臨時閉館)
- ・短大ライフデザイン学科2年生図書館利用指導の実施(8日)
- ・大学・短大新入生オリエンテーション(9日)
- ・平成20年度指定図書調査依頼(10日)
- ・春季休暇中長期貸出返却期限(14日)
- ・短大幼児保育学科2年生図書館利用指導の実施(16日)

5月

- ・短大ライフデザイン学科1年生図書館利用指導の実施(1日)
- ・大学基礎演習での図書館利用指導(毎週水・木の2時限目)開始(7日~)
- ・総合実習館落成記念祝賀会(9日午後臨時閉館)
- ・平成20年度第1回図書委員会開催(7日)
- ・平成20年度第1回選定候補図書アンケート調査依頼(12日)
- ・平成20年度第1回指定図書の発注(16日)
- ・短大幼児保育学科1年生・図書館利用指導(22日)
- ・田子高等学校見学会(23日)
- ・盛岡中央高等学校見学会(27日)

◆ 編集後記 ◆

本年度は大学・短大合わせて9名もの先生が四月に新たに着任されました。お忙しい中、快く図書館からの執筆依頼にお応え戴きまして、4名の先生方から図書館や読書に関する原稿をお寄せいただきました。先生方のように、学生の皆さんにも読書好き、図書館好きな人になってもらえるよう、努めていきたいと思っています。図書館に遊びに来てね!(重)

- 図書館ホームページ・Web OPAC アドレス : <http://lib.hachinohe-u.ac.jp/>
※「図書館だより」は本館 Web サイトにも PDF ファイル形式で公開しています
- 図書館へのご要望・リクエストはこちらへ : tosyokan@hachinohe-u.ac.jp